

# ふくしまオーガニック通信

～オーガニック・ランドふくしまをつくろう～

No.30-1

平成30年6月18日

福島県農業総合センター有機農業推進室

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4>

[/nougou-centre/index.htm](http://nougou-centre/index.htm)

TEL 024(958)1711 FAX 024(958)1730

Facebook「オーガニックランドふくしま」

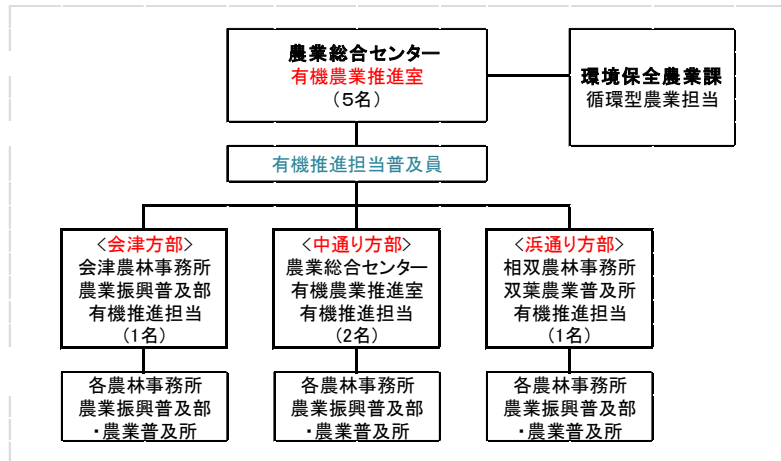


## 有機農業推進担当職員が新しくなりました

農業総合センター有機農業推進室

平成30年度の福島県の有機農業推進体制に異動がありましたのでお知らせします。

本県の有機農作物の栽培面積拡大と販売推進を図るため、新たな体制で活動してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



所属	職名	氏名		役割
有機農業推進室	室長	高橋 平		総括
	主任主査	穴澤 崇		中通り普及 (作物)
	技師	浅野 千春		中通り普及 (野菜)
	主任研究員	根本 和俊	新	試験研究
	専門員	横井 直人		有機畑地力増進、研修対応
会津農林事務所	主査(キャップ)	星 輝幸	新	会津普及
相双農林事務所	主査(キャップ)	大野 光	新	浜通り普及
環境保全農業課	主任主査	岡崎 徹哉		資源循環型農業担当主任
	主査	穴戸 邦明		有機栽培、特別栽培
	副主査	本田 綾		環境直接支払交付金、エコファーマー

平成30年度現地技術実証ほの設置

農業総合センター有機農業推進室

有機農業に関する応用的技術の実証・確立や各地方の実態を踏まえた推進活動を展開するため、「環境にやさしい農業拡大推進事業」により各地方に技術実証ほを設置しました。

【平成30年度現地技術実証ほ一覧】 ※敬称略

市町村名	生産者名	品目名	実証ほ内容
二本松市	柳瀬 聡一郎	野菜	障壁作物の囲い込み栽培による在来天敵を活用したアブラムシ抑制技術の実証
泉崎村	社会福祉法人 こころん 理事長 関 元行	水稲	明渠（間隔5m×5m×深さ50cm）設置による冬期間の水田乾燥化ほ場における雑草抑制技術の実証
会津若松市	永島 幸俊	野菜	天敵によるミニトマトの害虫防除技術の実証
南相馬市	羽根田 薫	水稲	移植後の屑大豆散布と適期の機械除草を組み合わせた除草体系における効果の安定性の実証

平成30年度現地技術実証ほ紹介①

在来天敵を活用したアブラムシ抑制技術の実証

農業総合センター有機農業推進室

キュウリの定植時期以降に高温乾燥が続くと、アブラムシ類の発生が多くなります。アブラムシ類はウイルス病を運ぶほか、密度が高まると生育や収量に大きく影響します。露地キュウリにおいては、アブラムシ類は厄介な害虫であり、防除に苦慮しています。

そこで露地栽培ほ場の環境を整備し、在来天敵を有効に活用してアブラムシ類の密度低減を図ることを目的に実証ほを設置しました。キュウリほ場を囲うようにソルゴーを播種し、ソルゴーへ土着天敵を誘引・定着させ、アブラムシ類の発生抑制効果を確認します。定着した天敵の種類やアブラムシ類の発生量について調査をしていきます。



15cm丈になったソルゴー (H30. 6. 8)



ヒラタアブ類の成虫

## 平成30年度現地技術実証ほ紹介②

冬期間の水田ほ場の乾燥化による雑草抑制技術の実証

農業総合センター有機農業推進室

水稲有機栽培では、紙マルチ、アイガモ農法、チェーン除草や歩行型除草機により雑草を防除していますが、中通り地方では、水稲収穫作業後に二山耕起や明渠の設置等により冬期間のうちに水田ほ場を乾燥化し、雑草の発生を効果的に抑制している事例が見られます。

今年度は、昨年度と同じ水田ほ場において、①完全手取除草区、②除草無し区、③機械除草区の3つの調査区を設け、水田ほ場の乾燥化と機械除草を組合せた雑草抑制効果を実証します。なお、調査ほ場は、稲わらのみを水田に還元するだけで、堆肥・肥料、農薬は一切使用しない2年目の水田です。



明渠による乾燥化 (H30. 3. 12撮影)



調査区の設置 (H30. 5. 31撮影)

## 平成30年度現地技術実証ほ紹介③

天敵導入によるミニトマトの害虫防除技術検討・実証

会津農林事務所農業振興普及部

会津地域における施設のミニトマト有機栽培は、害虫対策として防虫ネットをハウスサイドに設置し対応していますが、開口部等から害虫（アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類等）が施設に侵入、増殖し品質の低下や収量の減少を引き起こしています。

そのため、今年度はミニトマトの品質や収量の維持を図る目的で、現地に合った効果的な侵入防止対策および天敵の導入について実証ほを設置します。



生育の様子 (5/14)

## 平成30年度現地技術実証ほ紹介④

浜通りにおける水稲の有機栽培実証ほ

相双農林事務所双葉農業普及所



浜通りの有機農業は、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故により、取組面積が大幅に減少しました。

そこで、水稻における有機栽培を積極的に導入していくため、双葉農業普及所では、下記の実証ほを設置しました。

品目	設置場所	実証技術
水稻	南相馬市原町区馬場	移植後の屑大豆散布と適期の機械除草を組み合わせた除草体系における効果の安定性の実証

南相馬市における実証ほは、昨年度に引き続いての設置です。昨年度は、施用する有機物の種類や施用時期を検討しました。本年度は、屑大豆散布と機械除草の組合せによる除草効果の安定性を確認します。



屑大豆散布の様子



屑大豆散布直後の水田

### 低投入持続型水田の田植えを行いました！

[農業総合センター有機農業推進室](#)

農業総合センター有機農業推進室では、昨年度から低投入持続型水稻栽培技術を確立するため試験を行っています。今年も5月25日に田植えを行い、雑草が発生しにくい管理技術（抑草技術）と、外部から投入する資材を極力少なく（低投入）しつつも安定した収量を確保する技術の実証を進めます。今年も水稻有機栽培を持続するための必須技術として乗用型除草機を使った除草にも取り組みます。

皆さんも機会がありましたら農業総合センター内の水稻有機栽培試験田にお越し下さい。



有機栽培試験田（左、中：有機低投入栽培、右：有機慣行栽培）

**環境にやさしい農業拡大推進事業活用状況**  
**農業総合センター有機農業推進室/会津農林事務所農業振興普及部**

平成30年6月までに県内7カ所で、環境にやさしい農業拡大推進事業を活用し、三菱再生紙マルチ田植機と水田除草機「WEED MAN (ウィードマン)」が導入されましたので、紹介します。

「三菱再生紙マルチ田植機：三菱マヒンドラ農機株式会社」

再生紙マルチ田植機は、初代が平成9年に登場し、前モデルは平成15年に販売となりました。最新型は14年ぶりのフルモデルチェンジとなり、平成29年5月から販売されています。

「水田除草機WEED MAN (ウィードマン)：株式会社オーレック」

OREC初の水田除草機WEED MANが、平成30年春から本格的に販売が開始されました。本機械は、乗用型で除草装置がフロント部分であることから、除草作業がしやすくなっています。

2つの機種とも除草剤を使用しない有機栽培米や農薬の使用回数を減らした特別栽培米の除草作業の労力軽減につながることから、当該事業を活用し機械を導入した組織では環境にやさしい米づくりの拡大が期待されます。

環境にやさしい農業拡大推進事業の内容や問合せ先等については、別紙チラシをご覧ください。

【機械が導入された市町村 ●：田植機、■：除草機】  
**再生紙マルチ田植機**



**水田除草機**



**《お知らせ》**

**●第13回農業総合センターまつり (9月7日～8日)**

今年もセンターまつりを9月7日(金)、8日(土)に開催いたします!

試験研究の成果展示や農業技術相談を始め、バターづくりや実験体験等お子様も楽しめるイベントも開催予定です。また、地産地消直売コーナーへの出展について募集を受け付けておりますので、奮ってご参加ください。詳しくは、農業総合センターのホームページへ掲載しておりますのでご覧ください。

▽以下「農業総合センター」URL

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/nougyou-centre/index.htm>

### ●認定業務講習会 (7月3日)

平成30年度第1回福島県有機農産物認定業務講習会が、7月3日(火)に農業総合センターにおいて開催されます。登録認定機関『福島県』から有機JAS認定の取得を希望する方は、この講習会を受講して下さい。受講するには6月22日(金)までに申し込みが必要です。申込書は、農業総合センターのホームページから入手して下さい。

また、ホームページを開けない方や問い合わせのある方は  
福島県農業総合センター 指導・有機認証課：024-958-1708  
まで連絡をお願いします。



### ●「有機農業の栽培マニュアル」 プレスリリース !

農林水産省で実施している農林水産省委託プロジェクト「有機農業を特徴づける客観的指標の開発と安定生産技術の開発(2013~2017)」の成果普及資料として「有機農業の栽培マニュアル」が農研機構により作成され、5月28日付けプレスリリースされましたので、お知らせいたします。

▽以下「有機農業の栽培マニュアル」URL

[http://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/pub2016\\_or\\_later/laboratory/narc/080900.html](http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/pub2016_or_later/laboratory/narc/080900.html)

### ●オーガニック通信の送付について

ふくしまオーガニック通信では、県内での有機栽培の取組や、技術・事業・各種イベント等の情報について皆様に提供できるよう取り組んでいます。

送付先住所や代表者氏名等に変更があった場合は、お手数ですがご連絡ください。

■農業総合センター 有機農業推進室 担当：浅野■

TEL 024-958-1711

FAX 024-958-1730

Mail [yuuki\\_otasuke\\_soudan@pref.fukushima.lg.jp](mailto:yuuki_otasuke_soudan@pref.fukushima.lg.jp)